

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 九州大学

学部・研究科等名 生体防御医学研究所

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

事例2 「組織的競争研究資金」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

若手研究者自立的な研究環境整備促進事業・次世代研究スーパースター養成プログラム (SSP)「生体防御におけるポストゲノムサイエンス」を通じて、若手研究者を中心とした医理工薬連携による学際的研究を推進し、その結果、平成 21 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「若手科学者賞」を本研究所の SSP 特別准教授 3 名が、文部科学大臣表彰「若手科学者賞」を受賞した。

◇石谷 太 特別准教授 (細胞統御システム分野)

「個体の形成と維持におけるシグナル伝達の機能と制御の研究」

◇稲葉 謙次 特別准教授 (蛋白質化学分野)

「細胞における蛋白質ジスルフィド結合形成の分子機構の研究」

◇鈴木 淳史 特別准教授 (器官発生再生学分野)

「肝幹細胞の分離と機能制御メカニズムの研究」

平成 21 年度若手研究(S)採択の教員 3 名のひとりである白根 道子 准教授が第 6 回 (平成 21 年度) 日本学術振興会賞を受賞した (資料 I - A)。

競争的資金の獲得の成果が著しい研究所に、その間接経費を効果的・重点的に配分することにより、学外から優れた研究者を招聘・雇用し、より一層魅力ある研究環境を構築することを目的として、特定教育研究講座 (部門) 創設による特定有期教員招聘制度を整備・運用を開始した。この制度を利用して感染症の新規治療法の開発研究を推進する感染ネットワーク研究センターを研究所に新たに設置して学界をリードする卓越した研究成果を上げている研究者 (教授 1 名、准教授 1 名、助教 2 名) を招聘した。

世界的研究教育拠点として、極めて高い研究業績を有する者、ポスト・プロフェッサー及び本学の次世代を担う若手研究者が実質的かつ高度な研究活動を展開する場として、全学的な協力体制のもとに設置された高等研究院に、本研究所から特別主幹教授 1 名、主幹教授 1 名、特別准教授 3 名が参加して研究活動を推進している。

資料 I - A 第 6 回 (平成 21 年度) 日本学術振興会賞の受賞について

性別	受賞者氏名 (性別) (年齢)	所属	所属機関 職名	受賞の対象となった研究業績
人文学	イシイ 悠介 (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 教授	情報及び健康に関する社会経済的実証経済学
	カネノ 高典 (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 教授	現代文化の経済的・社会的研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	現代文化の経済的・社会的研究
	カワノ ユキキ (女) 42	0500	名古屋大学 大学院経済学研究科 准教授	認知科学の発展に関する比較認知心理学的研究
	コシノウ ユウウ (男) 42	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	最新学術大会
	コシノウ ユウウ (男) 42	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	最新学術大会
	イシノ 幸子 (女) 50	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	3D-E-ビュータプラットフォームのための産学官連携型デザインプラットフォームに関する基礎的研究
	イシノ 幸子 (女) 50	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	産学官連携型デザインプラットフォームに関する基礎的研究
	イシノ 幸子 (女) 50	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	産学官連携型デザインプラットフォームに関する基礎的研究
	イシノ 幸子 (女) 50	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	産学官連携型デザインプラットフォームに関する基礎的研究
理学系	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
生物系	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究
	カネノ マサオ (男) 43	0500	京都大学 大学院経済学研究科 准教授	生体内分子を可視化する化学プローブの開発に関する研究

(参考) http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/ichiran_6th.html